

HP 昔の広報紙を公開しています！
総務課企画財政班 TEL78-3111(内218)

津奈木町のホームページに昭和49年（第96号）からの広報つなぎ・公民館報を掲載しました。ぜひご覧ください。

■掲載場所
津奈木町ホームページ
↓
町政情報（広報つなぎ）



粗大ごみ 粗大ごみ特別受入を行います
住民課住民班 TEL78-3113(内115)

■日時
12月7日（日）
午前9時～正午

■場所
ごみ処理場（TEL 78-2584）

■料金
有料 ※ごみの量や種類によって異なります。

※詳しい問い合わせは住民課住民班またはごみ処理場へ電話してください

募集 第2回薩摩街道歴史ふれあいウォーク参加者募集！
■問い合わせ 芦北地域振興局 TEL82-4445

江戸時代から肥後と薩摩の人、物、文化を運び、豊臣秀吉、天璋院篤姫なども通ったという薩摩街道。偉人達が残した足跡をたどりながら、地域の歴史や魅力を感じてください。薩摩街道案内人による歴史ウンチクも楽しみの一つです。

■日時
11月29日（土）
午前9時～

■コース
湯浦温泉～つなぎ物産館グリーンゲイト

■参加費
1,000円（小学生以下500円）

■申込方法
①参加プラン（現地参加とお書きください）、②郵便番号、③住所、④氏名（ふりがな）、⑤電話番号（自宅・携帯とも）、⑥緊急連絡先（親族など）、⑦年齢を記入のうえ、ハガキまたはFAX（096-351-3826）で申し込んでください。申込期限は11月21日（金）です。

■申込先
RKKメディアプランニング
住所：〒860-0016 熊本市中央区山崎町8-8
FAX：096-351-3826
電話：096-351-3820

「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」
は年末調整・確定申告時期まで保管を！

年金情報

国民年金に関する情報をご紹介します。

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・町民税などの社会保険料控除の対象となります。国民年金保険料を社会保険料として申告する場合は、その年の1月1日から12月31日までに納付した国民年金保険料を証明する書類の添付が必要となります。このため国民年金保険料を納付した人には、日本年金機構本部から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が送付されますので、年末調整や確定申告をするまで大切に保管してください。

なお、世帯主・配偶者として家族の保険料も納付した場合は、その納付額も納付した人の控除対象となります。年末調整などの手続きの際に自分の社会保険料の額と合算して申告してください。（家族の証明書も必要です）

■年金に関する問い合わせ
住民課住民班
TEL78-3113(内115)
八代年金事務所
TEL0965-5350643

11月30日は「年金の日」です

“国民お一人お一人、「ねんきんネット」などを活用しながら高齢期の生活設計に想いを巡らしていただく日”として、今年から11月30日を「年金の日」と決めました。当日は全国の年金事務所で相談を承りますのでご利用ください。

※年金事務所では毎月第2土曜日にも「週末相談」を実施しています
□11月30日（日）
□午前9時30分～午後4時
□八代年金事務所

送付時期	
平成26年1月1日～9月30日までの間に納付した人	平成26年11月上旬に送付
平成26年10月1日～12月31日までの間に今年始めて納付した人	平成27年2月上旬に送付

出張年金相談所

年金事務所の職員が相談をお受けします。
【相談日】

会場	水俣市もやい館	芦北町役場
11月	13日(木)、27日(木)	14日(金)
12月	11日(木)、25日(木)	12日(金)
連絡先：0965-35-6123 ※要予約		

税務 家屋調査にご協力ください
住民課税務班 TEL78-3113(内123)

家屋に対する平成27年度の固定資産税は平成27年1月1日時点でその家屋を所有している人に課税されます。そのため新築・増築などをした家屋について、役場職員が訪問し調査を行います。新築・増築などをした家屋がある人、平成26年中に建築予定の人、また取り壊しをした人は**住民課税務班**まで連絡をお願いします。

特別講演 陸上の末續慎吾がやってくる！
（公社）八代地方法人会 TEL0965-32-1393

世界陸上でも活躍された末續慎吾氏の特別講演会（トークショー）を開催します。

■日時
11月16日（日）
午後3時～

■場所
つなぎ文化センター

■入場料
無料（入場整理券が必要です）
※入場整理券は、津奈木町商工会・亀萬酒造・文化センターで取り扱っています。

赤崎水曜日郵便局コーナー
～ポストマンからのメッセージ～

香川県坂出市の沙弥島にいます。島の北側にあるナカノタ浜に立つと、岡山県に向かって伸びる瀬戸大橋が一望できます。この島は、かつては瀬戸内海に浮かぶ塩飽諸島の島でしたが、1967年（昭和42年）12月に番の洲工業地帯の埋め立て造成により地続きとなったそうです。ですので、埋め立てで作られた平坦で真っすぐな道の先へと車を走らせると、突如として入り組んだ漁村の風景に出会い、まるで島に瞬間移動したかのような不思議な感覚にさせられます。夏に海水浴客でにぎわう沙弥島海水浴場では、昔から「沙弥島おでん」と呼ばれる地元の人々の手作りおでんが売られています。海水浴に来る坂出市民の人々にとって、このおでんの味こそ夏の風物詩なのだそうです。地続きの島になってから47年経ちますが、ここにいると今も島の時間が流れているのを感じます。のんびりとした瀬戸内海を眺めながら、まるで島の時間を煮詰めて作ったかのような、夏に食べる「沙弥島おでん」の味に想いを馳せた水曜日。この海も赤崎水曜日郵便局につながっている。（写真・文 五十嵐靖晃）

2013.6.19 開局
手紙累計数 **2,373**通
※10月15日現在

ポストマン やすあき 五十嵐 靖晃さん
撮影：森 賢一